

『地域で楽しく育ち合い』

森のようちえんいろどり
親子組おさんぽ会
活動紹介



2026年6月16日（火）
森のようちえんいろどり 代表 有村理恵

①自己紹介

- 広島出身、平和への想い
- 奈良在住10年目
- 地域の魅力を体感（自然が豊かでほどよく町・新住民を受け入れてくれる・伝統を大切に楽しんでいる・子どもは宝）→葛城で子育てしたい！
- 小学4年・1年・年少児の三姉妹の母
- 長女と森のようちえんウィズ・ナチュラ(天理市・往復2時間)に3年間通う→平和の礎を築く活動なのは！？
- 「これからも住み続けたい葛城市で森のようちえんを立ち上げ、多様性・対話・共生・育ち合いを大切にするコミュニティを育てたい！」

②森のようちえんとは

- 1950年代にデンマークのお母さんがわが子とその友人を連れて森で自主保育を始めたことが発祥

日本では0歳～概ね7歳を対象にした『自然体験活動を基軸にした子育て・保育、乳児・幼少期教育の総称』

- 必ずしも園舎を必要としない（認可園・地方裁量型こども園・認可外保育施設・任意団体・など形態はさまざま）
- 300近くの森のようちえんが存在
- 「NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟」が交流・研修の場を提供

子どもたちが自然の中でありのままに心が動く体験を積み重ね、豊かな感性と心身の土台を築いていくことを大切にしており、従来の幼稚園や保育園と対立する新たな教育ではありません



全国交流
フォーラムの
様子

2021年、曾爾青
少年自然の家に
全国から
500人が集結！



③奈良県で『自然保育』が見直されています

就学前教育の重点施策
「学ぶ力」「生きる力」



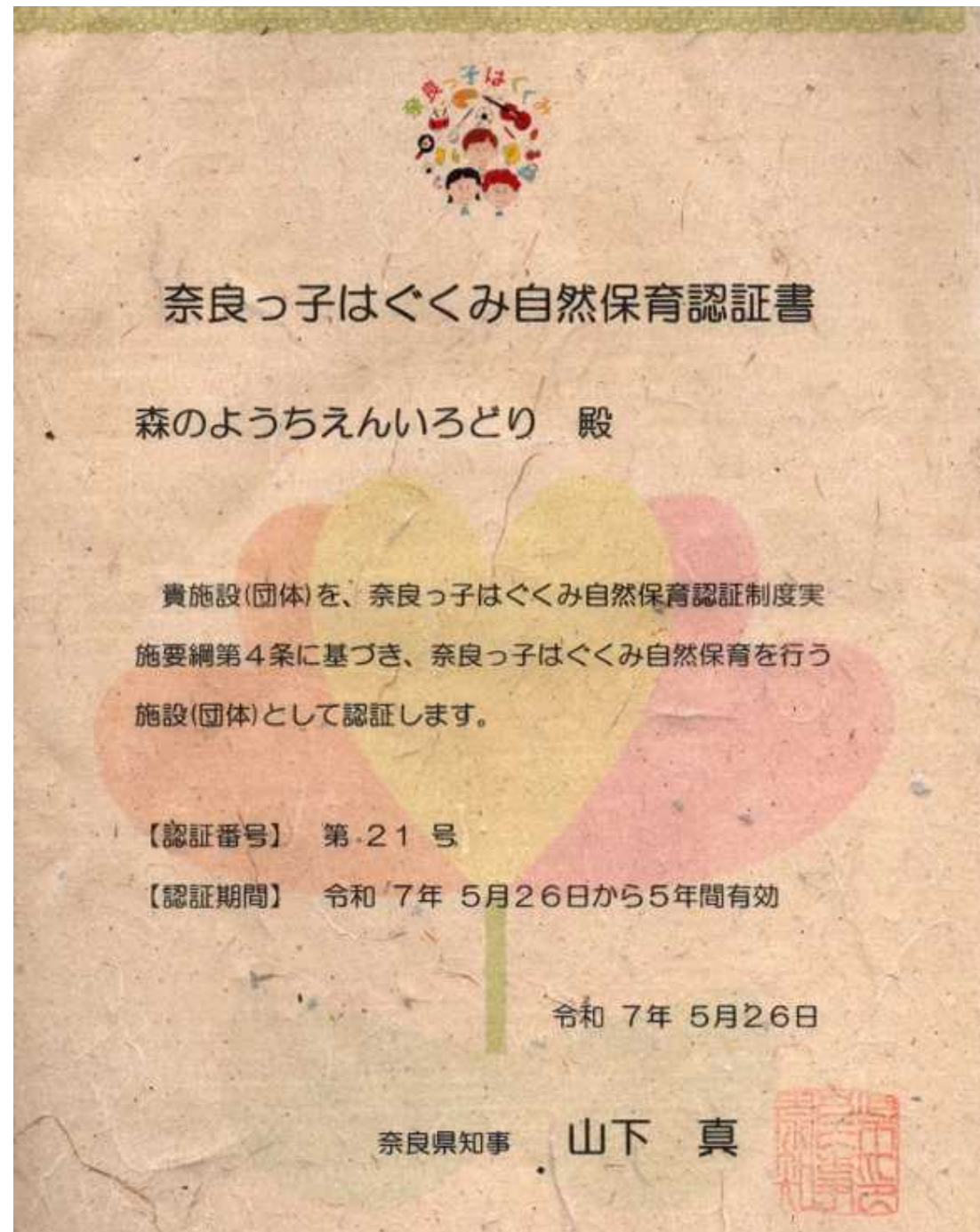
「自己肯定感」「健やかな身体」
「他者への寛容なところ」



『自然保育』・『食育』・『芸術』



奈良県自然保育認証制度の 認証を受けました



④団体紹介

ミッション(使命)

すべてのこどもたちに
自分らしく
生き生きと過ごせる
自然体験の機会をつくる

森のようちえんいろどり
って、どんな団体？

ビジョン(在りたい姿)

自然体験を糧に、
自分と自分を取り巻く
環境への信頼を深め、
心豊かに共生する社会を
体現する

バリュー(行動指針)

- ・ジャッジのない、対等で対話的な関係を大切にする
- ・お互いの育つ力を信じて見守る
- ・困りごと・ヘルプは全体共有し課題解決していく
- ・自他への信頼と希望をもって、とにかく体験・行動する

④団体紹介

- 2022年2月親子組活動開始
- 2023年4月ようちえん組開始(認可外保育施設)
- スタッフ7名(保育士有資格者5名)
- 森のようちえん全国ネットワーク連盟団体会員



親子組

週1回 毎週木曜日

10:15～13:00

市内の公園や里山フィールドにて
未就園児(0～2歳児)とその保護者

親子でのおさんぽや自然あそびでココロとカラダのつながりをじっくり味わったあとは、大人も自分に立ち返り、安心の中で交流する時間をつくっています

ようちえん組

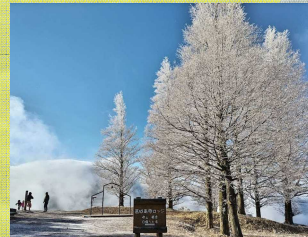
週5回 月曜日～金曜日

9:30～14:00

葛城市内の公園・里山フィールドにて
3～5歳児

自然の中での主体的な遊びや体験活動を中心に3歳児～5歳児の3学年が共に過ごし、保育者や保護者は一人ひとりの成長過程に寄り添い関わります

地域の魅力いっぱいの活動拠点



二上山麓・葛城山麓の公園など

地域の方との交流・ご協力

⑤親子組おさんぽ会の活動

昨年度44回の開催
のべ**302組**(うち葛城市民134組)に
自然さんぽの機会を提供(リピーター含む)



わが子と
じっくり過
ごす時間



《スケジュール》

- 10:15 集合・絵本・チェックイン
- 10:30 おさんぽ
- 11:30 お弁当
- 12:00 大人のお話タイム
- 12:45 絵本・チェックアウト
- 13:00 終了

親の気持ち
を出し合う
時間









おさんぽ会を通じて葛城市で実現したいこと

孤育て
の解消

自然・地
域の魅力
発見

その人らしい
育ちを支え合
う社会へ

より多くの葛城市のお母さんお父さんと、
自然豊かな地域の中で大人も子どもも一緒に
育っていく楽しさを分かち合いたい！！

子育て期は、
「この町で自分がどう生
きたいか」を
問い直すチャンス！！

親子組



moriyou.irodori ありのままの自分を認め、親子で育ち合える場。

仲間との対話を通して、感謝・尊敬・信頼が生まれ、安心できる場。

それが、私にとって親子組のいちばんの魅力でした。

お散歩の前と後には、"いま"の自分（と息子）の心と

身体の状態を感じる時間があり、ふわっと浮かんた

＝皆が、スーッとついでいきます

[インサイトを見る](#)

[投稿を宣伝](#)



親子組



moriyou.irodori

...

"こうあるべき"に縛られていた自分の気持ちを、少しずつほどこいて、
自分たちのペースを大切にできるようになりました。

自然の中に降り立った途端、
やりたいことがあふれ出す子どもの姿。
「また怪我しないかな...」
「迷惑をかけないかな...」と不安になる気持ち。

一人だったら、きっと止めてしまっていた場面も、
思いきり自然の中で遊ばせてもらいました。

[インサイトを見る](#)

[投稿を宣伝](#)



いいね！13件

4月7日



moriyou.irodori



親から離れ、友だち同士の関係が深まる周りの子達の姿を見て、微笑ましさと共に、我が子にも求めてしまい、羨ましくも思う。

そんな思いも自然の中で一緒に過ごすうち、“ありのままでいいし、それも個性だな”と自分の中での“～べき”が緩む感覚だった。

この1年半で、子どもはどんどん大きくなり、

抱っこ紐に入っていた下の子は、今では抱っこを求めることなく、自分のペースで歩くのが大好きに。
赤ちゃん帰り真っ只中だった長女は、時に頼もしい育児パートナ

[インサイトを見る](#)

[投稿を宣伝](#)





子どもにこんな力をつけてほしいから通う、というより、我が子がいきいき楽しそうだし、何より母である私自身が楽しいから通っていました。

人生でこんなにも自然に目を向けたことはなく、見える世界が変わりました。
そして我が子と私の人生、これからもさらに豊かなものになっていく楽しさを感じています。

出会ってくれた皆さん、その場を与えてくれたいろどり親子組、本当にありがとうございました。

[インサイトを見る](#)

[投稿を宣伝](#)



2年間で何を達成したのか？



孤育での
解消



自然・地域
の魅力発見



その人らしい育
ちを支え合う社
会へ

草の根的規模ながらも、上記3つの課題にアプローチできる活動の質は担保できるようになったといえる。

3年目。何を達成したいか

～継続的な活動にするために～

- ・ 葛城市の参加者を増やしたい(地域への愛着を育む)
- ・ 「なかまと自然とつながることから、幼い人との暮らしをより豊かにするコミュニティ」として存在し続ける
- ・ 社会(葛城市)で必要とされる活動を続けるため、市や参加者のニーズを知って活かす

おさんぽ会を通じて葛城市で実現したいこと

孤育て
の解消

自然・地
域の魅力
発見

その人らしい
育ちを支え合
う社会へ

より多くの葛城市のお母さんお父さんと、自然豊かな地域の中で大人も子どもも一緒に育っていく楽しさを分かち合いたい！！

子育て期は、「この町で自分がどう生きたいか」を問い直すチャンス！！

そのために・・・

広報
チラシ・通信

安全管理
安全講習受講

環境整備
必要備品

スタッフ
技能向上
研修参加

多様な体験
外部講師

最終年度は、活動の意義を伝える講演会開催に力を入れます！

子連れ参加OK!!
キッズコーナー &
相談コーナーあり

子育て講演会

子も親もありのままだに、自ら育つ力に気づく
幸せな人生をつくる子育て
～なかまと自然とわかちあう
「おさんぽ」のヒミツ～



マイペースにじっくり、なかまと自然とふれあうおさんぽには、豊かな感性・自己肯定感・非認知能力といった「生きる力」の向上だけでなく、「安心」「幸福感」を親子で育む秘密がいっぱい！
野外教育のプロ・3児のパパであるのんたん先生がその秘密をたっぷりと伝えてくれます。



『何かしてあげなきゃ』が見守る余裕に変わる



子どもとの時間をもっと楽しめる のんたん お話：野澤俊索さん



2004年自然学校ネイチャーマジックを設立、2011年より日常通園型の自然保育「森のようちえんさんぽみち」を運営。0歳から青年期までの子育て支援を確立。その他「こどもと自然と未来」をテーマにしたメディア（雑誌・WEB）活動や大学の非常勤講師・講演活動も実践と共に行なっている。



2026年

7/5 (日)

9:30～11:30

葛城市歴史博物館
あがねホール
(葛城市忍海250-1)